

# 目 次

## I. 平成30～令和2年度総合研究報告書

- 食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握と  
その治療法の開発等に関する研究…………… 1  
研究代表者 辻 学

## II. 令和2年度総括研究報告書

- 食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握と  
その治療法の開発等に関する研究…………… 6  
研究代表者 辻 学

## III. 令和2年度分担研究報告書

01. 油症患者の50年間追跡調査…………… 12  
研究分担者 小野塚 大介  
研究協力者 中村 優子, 辻 学, 古江 増隆
02. 油症検診受診者の血液中PCDF等(ダイオキシン類)濃度実態調査…………… 15  
研究分担者 香月 進  
研究協力者 堀 就英, 平川 博仙, 飛石 和大, 新谷 依子, 佐藤 環,  
古谷 貴志, 宮脇 崇, 平川 周作, 酒谷 圭一, 小木曾 俊孝,  
戸高 尊, 広瀬 勇氣
03. 油症検診データを用いた基礎的解析…………… 24  
研究分担者 香月 進  
研究協力者 高尾 佳子, 高橋 浩司
04. Thermo Scientific DFS Dual Data XL システムによる  
油症患者血液中ダイオキシン類分析法の検討…………… 30  
研究分担者 戸高 尊  
研究協力者 広瀬 勇氣, 上原口 奈美, 梶原 淳睦, 千々和 勝己, 池田 光政
05. 油症曝露による女性特有の健康影響に関する研究…………… 36  
研究分担者 月森 清巳  
研究協力者 加藤 聖子, 諸隈 誠一
06. 油症患者における体脂肪率推定式の作成、体内負荷量に基づく半減期の再検証と  
アンケート調査による意識調査・テキスト分析…………… 40  
研究分担者 赤羽 学  
研究協力者 松本 伸哉, 今村 知明, 神奈川 芳行
07. 食品を介したダイオキシン類等の人体眼部への影響に関する研究…………… 54  
研究分担者 園田 康平

08.	油症検診受診者における角膜内皮細胞	55
	研究分担者 上松 聖典	
	研究協力者 北岡 隆	
09.	油症患者における口腔粘膜色素沈着に関する文献的研究	56
	研究分担者 川崎 五郎	
	研究協力者 吉富 泉	
10.	油症における末梢血ヘルパーT細胞亜集団に関する検討	59
	研究分担者 辻 博	
11.	長崎県油症認定患者における神経栄養因子の血中濃度評価と考察	65
	研究分担者 室田 浩之	
	研究協力者 村山 直也	
12.	カネミ油症患者における中枢・末梢神経障害の文献的考察と安静時機能的MRIによる 神経可塑性の神経基盤の研究	69
	研究分担者 山下 謙一郎	
13.	ダイオキシン類によるマウス肺傷害モデルにおけるSP-DのAhR発現への影響	71
	研究分担者 濱田 直樹	
	研究協力者 鈴木 邦裕, 柳原 豊史	
14.	継続的なベンゾピレン投与ラットに対するケイヒの効果検討	77
	研究分担者 申 敏哲	
	研究協力者 吉村 恵	
15.	芳香族炭化水素受容体による皮膚アレルギーの制御機構に関する研究	83
	研究分担者 古江 増隆	
16.	ベンゾピレンによる皮膚障害に対する生薬成分バイカレインの効果の検討	85
	研究分担者 古江 増隆	
	研究協力者 田中 由香	
17.	2,4,6-三塩素置換PCB異性体PCB154の動物肝ミクロゾームによる代謝	91
	研究分担者 古賀 信幸	
	研究協力者 太田 千穂	
18.	2,3,7,8-Tetrachlorodibenzo-p-dioxinによる出生児の性未成熟の機構解析： 脳の性分化と生殖腺の発達に対する芳香族炭化水素受容体の寄与	98
	研究分担者 石井 祐次	
19.	ダイオキシン誘導性セレン結合性タンパク質1 (SelenBP1)の腎臓における役割： 脂質代謝の制御とストレス応答との関連性の検討	112
	研究分担者 石井 祐次	
20.	Ah受容体とアルギニン代謝を介した活性酸ストレスと腸炎の研究	126
	研究分担者 鳥巢 剛弘	

<b>21.</b>	AhR シグナルの活性化が歯槽骨量へ及ぼす影響の解明に関する研究……………	131
	研究分担者 前田 英史	
	研究協力者 友清 淳	
<b>22.</b>	油症患者の関節症状に関する研究 —Kynurenine pathway の関節炎への影響— ……	132
	研究分担者 津嶋 秀俊	
<b>IV.</b>	<b>研究成果の刊行に関する一覧表</b> ……………	135